







グループセッションでは、質問に対する回答の資料を読み上げる説明よりもほかのことが聞きたいと思った。ほかのグループのプレゼンではわかりやすくまとめられていてとても勉強になった。

自分の疑問に思っていることを回答だけでなく、さらに話し合いの場を設けていただいて深く知ることができた。

グループ対話に収穫があった

質問への回答の量が予想以上でした。難しいものだと考えていたが説明を聞いて原子力発電や分散型エネルギーなどについてしっかり理解できたからです。

再生可能エネルギーは環境にも配慮しており有効な手段と思い込んでいましたが、原子力発電のエネルギーの生産性やリスク、また、将来の化石燃料が枯渇し、エネルギー源が乏しくなった状態を具体的に値を示していただきながらの説明であったため、日本の状況がより明確に把握することができたからです。

一度目は疑問が残ったが、二度目は実りある時間となった為

今までの考えとは違う見方ができるようになったから。

自分が説明して欲しかったことにとっても詳しく解説してくれており、資料も素晴らしいものだった。また対話会での質問もすぐさま答えてくれて良かった

原子力発電について知る貴重な機会になったので、とても勉強になった。ただ全体的に時間が足りず、発表のための準備時間も短かったため、もう少し時間があればよかったと思った。

再生可能エネルギーやシェールガスなど、興味があった発電方法に対して、基本的な特徴と問題点を知ることができた。とくに、再生可能エネルギーは発電するまでのエネルギーの割合が、発電して出来るエネルギーの割合に対して大きいというお話を聞いて、今まで再生可能エネルギーにたいし、言葉のイメージだけで判断してしまっていたと感じました。

グループセッションでは、質問に対する回答の資料を読み上げる説明よりもほかのことが聞きたいと思った。(講演・対話参加者の意見: やや不満)

(4) 対話会で聞きたいと思っていたことが効くことができましたか。

対話で聞けたか	対話だけ参加	講演・対話に参加
十分聞けた	94%	80%
あまり聞けなかった	6%	20%
全く聞けなかった	0%	0%
無回答・その他	0%	0%



















生は(3)でもコメントしている。

(6) アンケート結果から、総体的に次のことが言えよう。エネルギーや原子力に対する理解度は、講演・対話参加学生、対話だけ参加学生、講演だけ参加学生の順に高く、学生の80%以上が原子力の役割を理解しているように見える。しかし、約21%の学生が放射線・放射能をやはり怖いと感じており、その結果約17%の学生が原発を削減し、再エネ活用の意見に傾いている。

対話会にネットを利用することについては、多数が肯定的な意見であるが、資料の説明だけでなく、シニアとの直接 Q&A を望む意見もあった。グループ対話では他の参加者の意見も聞けるとの前向きな意見もあった。

以上